どのようにして WPS を長期存続させるか？
～どうして WUSA は一時中断されたのか？～
How Has The WPS Been Existed For A Long Term?
—Why Has The WUSA Been Suspended?—

1K05B081-0
指導教員 主査 奥野景介 先生

黒川 晃
副査 倉石平 先生

【研究目的】

私自身、アメリカに留学し、NCAA の Division 1 に所属する大学でサッカーをした。その環境はプロと劣らないくらい素晴らしいもので、夏季休業中に所属したセミプロリーグの WPSL のチームよりもはるかに良い環境であった。このように、アメリカでは、高校生を受け入れる側の大学女子サッカーがとても充実しているのに、その後プロリーグにつながらないのは非常にもったいないと感じる。

そこで本研究では、一時中断された WUSA の原因を分析し、6 年間の一時中断後に再開・再発進した WPS が長期存続されるための方法を検討することを目的とした。

【研究方法】

本研究では、男子サッカープロリーグやアメリカ女性スポーツ、女子サッカーに関する書籍、研究論文、調査報告、新聞記事、雑誌記事、インターネットによる文献や資料、各協会ホームページから情報を収集し、検討、考察を行った。

【結果及び考察】

WUSA が存続されていた 3 年の間、WUSA チームの平均観客数は 8,100 人から 6,700 人に減り、レギュラーシーズンの試合のテレビ視聴も約 10 万世帯に低下した。また、リーグの投資者たちは初期費用として予定よりも約 6,000 万ドルの追加負担をした。加えて、2001 年には 4,600 万ドル、2002 年には 2,400 万ドル、2003 年には 1,700 万～1,900 万ドルの追加負担をした。そして、2003 年 WUSA は約 4,000 ドルの赤字を抱え、一時中断した。

一時中断の原因には、女子スポーツリーグ単独プロ化の困難性と経営陣のマネジメントの失敗があった。経営陣のマネジメントの失敗では、スタジアム使用の問題、スポンサー契約、誤った判断、マーケティングプランの欠点が具体的に挙げられた。

その後、WSII の復興活動によって 2009 年に WUSA は WPS として新たなスタートを切り、現在 3 シーズン目に向けたトレーニングが開始されようとしているが、非常に財政的に困難な状況にあると言える。

女子プロスポーツリーグが成功するための代表的

な方法は男子スポーツリーグとパートナーシップを組むことであるが、WPS は MLS とパートナーシップを組んでいるにも関わらず、経済状況が改善されていない。それにはアメリカ男子サッカープロリーグの人気度も関係してくる。サッカー発祥の地であるイングランドの女子プロサッカーリーグは男子プロリーグとパートナーシップを組むことで成功している。このように、パートナーシップを組む男子サッカーが国民的に支持されることで女子サッカーリーグが成功することが言える。

また、WPS は経済難ではあるが、リーグには各国代表のトッププレーヤーが多く所属している。このことから WPS は魅力的なリーグであり、また女子サッカー界のトップを走るプロリーグであるということも言える。よって、リーグ全体のレベルを更に上げ、アメリカ国内で女子サッカーが魅力的なスポーツとなることで観客数を増やすことができると考える。

WPS の観客動員数は、WUSA よりも少なくなっている。そのため、MLS とパートナーシップを組みスタジアムを共同使用するよりも、全てのチームが近隣の大学と提携し、そのスタジアムを使用することが必要である。このように観客数に見合ったスタジアムを使用し、スポンサーやテレビ視聴者にとって「見た目」の良い魅力的な状況を生み出すことが必要であると考えられる。

また、WPS には PUMA を筆頭とする 9 社のスポンサーが付いているが、メジャーなスポンサーは PUMA の一社のみである。世界で最も成功している女子サッカークラブの一つであるとスウェーデンの Umea IK には Volkswagen、PUMA を含む多くのスポンサーが付いている。このように、WPS もメジャーなスポンサーと契約する必要がある。

【結論】

以上のことから、WPS が長期存続するためには、男子リーグの活性化と協力関係強化、WPS 自体のレベルアップ、スタジアムの効率的な利用、及び大手スポンサーの確保が必要である。